

一 般 質 問

6月定例会における一般質問は、6月11日、12日の2日間にわたり10名の議員により行われました。

飯尾 暁 議員

(日本共産党茂原市議団)

○図書館業務指定管理者制度・民営化に関わる雇用問題の検証について

問 この制度の運用における総務省助言で、雇用・労働条件への適切な配慮が謳われているが、臨時職員9名のうち再雇用は1名のみ。優先的雇用とは無縁の無責任な対応である。背景に劣悪な労働条件。首切りと官製ワーキングプアを同時に創出した事実を認めるか。

答 指定管理者は、本市の臨時的任用職員に対し、一般の採用に先立つ事前説明会の案内をし、出席者全員に採用内定が通知された。しかしながら、他の職場が見つかったなど本人の事情による辞退があったことから、最終的に1名の採用となったものである。

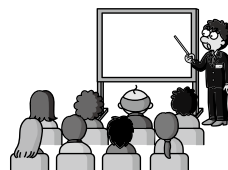
る。また、指定管理者での勤務条件は多様で、通勤手当が増額されたと聞いている。今まで愛情を持って現場を支えていただいた方々には感謝しており、引き続き新図書館での勤務を希望するようお願いしてきたが、各々の考えによって判断されたものと理解している。市として出来る限りの努力をしてきたことをご理解いただきたい。

○図書館業務指定管理者制度に関わる市民への説明責任について

問 説明責任を明確化した総務省指針に反し、市長も「拙速だ」と懸念した強引な事業展開。市民への説明も段階を踏んだというが、多くは誰も知らない。庁議で約束された議員会派への説明も、わが会派には無し。なぜか。説明責任を含めた虚偽の答弁を認めるか。

答 図書館の移転等については段階を踏んで実施しており、住民の代表で組織する図書館協議会、公民館運営審議会、教育委員会等において審議いただく中で説明してきたものと理解している。

「市民の皆様や議会にもっと丁寧の説明すべき」とのご意見については、真摯に受け止めており、また、一部会派説明が漏れてしまった点については、大変申し訳なく思っている。



その他の質問事項
・税の徴収業務に関する基本姿勢と問題点について

前田 正志 議員

(もばら21)

○危険な空き家対策について

問 空き家対策について、昨年度実施された「保安上危険な建築物等実態調査」の結果と、今後どのような対策を考えているのか伺う。

答 対象とする一戸建て住宅

約3万棟について、現地調査などを行った結果、保安上危険な空き家と推定されるものは約300棟あり、このうち非常に危険である建物は11棟であった。この11棟については、現在対応中のものも含め、早急に所有者等に改善するよう要請していくこととし、その他のものについても、順次対応したいと考える。

なお、データの分析結果については、庁内関係部署間で検討し、更なる連携強化を図りながら、効率的な対応に努めたい。

○自治会の役割と責務について

問 自治会の役割と責務について伺う。また、防災や高齢者の見守り等の面で更なる役割を担うこととなるが、規模の小さな自治会では合併等が必要と考えるが如何か。

答 自治会は、地域を基本として自主的に組織された任意団体であり、防犯、防災、環境整備など地域の課題解決や住民同士の親睦・交流の促進、地域福祉の向上など、住みよいまちづくりを推進する役割

を担っている団体と認識しており、それらを民主的な運営の中で実現していくことが責務と考える。

本市では、行政に関する文書の配布や情報伝達、各種委員の推薦など、行政の取組みにもご協力をいただいているところでもあり、各地域において自治会の役割と責務は果たされているものと考えている。

また、茂原市自治会長連合会では、自治会の合併については自主性に委ねるとされていることから、市としては、今後、防災や高齢者の見守りなどの取組み等について相談があった場合には、各自自治会の状況等に応じて対応したい。



その他の質問事項
・昨年の台風26号被害の原因究明と対応について
・自治会の活性化について
・図書館の移転の進捗状況について